

石狩八幡小学校開校準備委員会 第12回会議【質疑要旨】

・日時 令和元年10月8日(火) 18:30~19:25

・会場 八幡コミュニティセンター 会議室

・出席者

委員

〔保護者〕

工藤 隆司 八幡小学校PTA会長
鈴木 諭美江 聚富小中学校PTA監査
熊倉 可菜 くるみ保育園父母の会
玉井 九美 聚富保育園父母の会

〔学校関係者〕

吉田 光岐 石狩小学校校長
三島 哲 八幡小学校校長
青山 司 聚富小中学校校長

〔学識経験者〕

戎屋 健一 学校支援地域本部事業・地域コーディネーター〔委員長〕

〔学校支援推進員〕

中井 元 石狩小学校学校支援推進員
菊地 功 八幡小学校学校支援推進員

〔町内会代表者〕

牧野 勉 むつみ町内会会長
藤田 修 虹が原町内会会長

〔教育委員会事務局〕

佐々木生涯学習部長
佐藤教育指導担当次長
安崎総務企画課長
山田指導担当参事
佐々木学校教育課長
伊藤社会教育課長
松永総務企画課主幹
古屋総務企画課主査
加藤総務企画課(施設担当)主査

〔保健福祉部〕

伊藤子ども政策担当次長
川畑子ども政策課(子ども・子育て担当)主査

※出席 12名

欠席 3名

坂田育子 副委員長(石狩中学校校長)
佐藤百恵 委員(石狩小学校PTA副会長)
富木智之 委員(石狩中学校PTA会長)

※傍聴者 1名

● 委員長あいさつ

夏休み中に、八幡小体育館の床が改修されて大変良かった。市教委におかれては、引き続き要望していた項目の施設改修について、予定どおり実施されるようお願いしたい。

また、10～11月にかけて、各校で閉校記念式典が行われるが、その一方で来年4月の開校に向かって様々な準備が進められている。先生方は大変忙しい思いをされているが、どうか宜しくお願いしたい。

● 前回会議の質疑要旨の内容確認

全委員より了承をいただいた。

● コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）について

資料「石狩市学校運営協議会規則」及び「コミュニティ・スクール（CS）研修会：開催チラシ」に基づき、事務局（松永総務企画課主幹）より説明した。

[質疑応答]

(A委員)

委員の定数が15人以内となっているが、学校規模の大小を問わず最大15人までという理解でよろしいか。

(安崎総務企画課長)

はい。将来的に、石狩中と石狩八幡小の合同による学校運営協議会が構成され、15人の枠では足りないという場合は、規則を改正することも考えているが、まずは15人以内とすることを念頭に人選を進めていただきたい。

(B委員)

そうであれば、例えば、石狩八幡小で7～8人を委員として、その後に石狩中と合同の協議会として合わせて15人となることを、今から想定したほうが良いと思っているがいかがか。

(安崎総務企画課長)

市教委としては、開校初年度（令和2年度）から石狩中と合同の協議会を組織するようにお願いすることはできないと思っている。また、通学区域としては同じエリアなので、協力していただけるキーマンとなる方は絞られてくるのではないかと考えている。

(C委員)

委員の人選について、現在の学校支援推進員が自動的に学校運営協議会委員を務めるということではなく、今後あらためて決めていくということですね。

(安崎総務企画課長)

はい。自動的ではありません。（→ C委員、了承）

(戎屋委員長)

15 人以内となっているので、当初から最大数 15 人に設定しなくてもよいということも踏まえながら、そして令和 3 年度から市内全校で導入されることも視野に入れて、今後人選を進めていくということではいかがか。(→ A 委員、B 委員、C 委員、了承)

(D 委員)

C S 研修会に参加したいと思っているが、託児サービスを用意していただくことはできるか。

(松永総務企画課主幹)

会場(望来コミュニティセンター)には、研修会を行う部屋(室)とは別に、子どもが過ごせるスペース(別室)があるので、ご要望にお応えできるようにこれから準備を進めていきたい。

(→ D 委員、了承)

● スクールバスの運行計画(事務局案)について

別紙資料「2020(令和 2)年度登校便運行経路図(案)」に基づき、市教委(松永総務企画課主幹)より説明した。

- ・前回会議では、現在の石狩小学校区のスクールバス(登校便)の運行経路案をお示しした。今日は、現在の八幡小校区と石狩中校区のスクールバスを運行している「緑が原 1 丁目・2 丁目、八幡町高岡、北生振、美登位」に加えて、来春から新たに石狩八幡小と石狩中の校区(通学区域)となる「厚田区虹が原」と、今回の学校統合にあたって両校への通学ができることとなった「厚田区聚富 ※①～④のエリア」に住所があり、両校への通学を希望する児童生徒が、朝の登校便のスクールバスの運行経路がどのようになるのか、その案をお示しさせていただきたい。
- ・聚富小中の児童生徒の通学先に係る最終意向調査は 11 月に実施する予定であり、今日の段階では、一人一人の住所(自宅の位置)が特定できるものは示せないで、①～④という表示とさせていただいている。

[質疑応答]

(E 委員)

現在、乗降場所に設定している「トーマン団地入口」について、資料図面では設定されていないが、これから入学する児童もいることも考えたときに、引き続き乗降場所として残した方がよいと思うので要望したい。

(松永総務企画課主幹)

乗降場所を増やすことによって、バスの乗車時間が若干長くなってしまいが、今後、バス運行业者と協議し、最終決定したいと思う。(→ E 委員、了承)

(A 委員)

北生振の運行経路(28 人乗りスクールバス)について、一部道幅が狭い箇所もあると思うの

で、冬季間は除雪状況を見て運行してほしいと思う。

また、下校便の運行について、不審者対策のこともあるので、各乗降場所の到着時間もお知らせいただきたい。

(松永総務企画課主幹)

ご意見をいただき感謝申し上げます。そのような形で取り進めていきたいと考えているので、宜しくお願いいたします。(→ A委員、了承)

(E委員)

下校便に関して、現在、虹が原の子ども(聚富小の児童)は、学校帰りに直接、レインボークラブ(聚富子ども教室)に行くことはできないというルールになっていますが、今後、クラブの前で降車できるのであれば、一度帰宅せずにそのまま行けるようにしてほしいと思ったのですが。

(F委員)

いわゆる学童保育(放課後児童クラブ)とは違う取り扱いになるのではないだろうか。学校では帰宅しているという事実確認が必要になると思うので。

(伊藤子ども政策担当次長)

原則は、放課後児童クラブ(学童保育)は、帰宅しないで直接行くことができるが、児童館(レインボークラブ)は一度帰宅してから利用することになっている。ただし、聚富小の校区には放課後児童クラブが設けられていないエリアで、自宅が遠いために利用しづらい部分もあるので、比較的な柔軟な対応をしている。次年度以降もこれまで同様に、利用しやすい運用としていきたい。(→ E委員、了承)

● その他

(戒屋委員長)

今後の八幡小学校施設の改修の予定と、校歌制作の進捗状況についてお聞かせ願いたい。

(安崎総務企画課長)

施設の改修については、10月下旬に外壁と非常階段の改修、冬休みにトイレ洋式化と体育館のLED照明化、音響設備の改修を行う。なお、玄関タイルの改修は、積雪前か3月の春休みのどちらかの時期に実施できるよう調整中である。

また、校歌については、歌詞が固まって作曲に移行しており、次回会議で音源や歌詞の解説も含めてお示ししたいと考えている。(→ 戒屋委員長、了承)

※事務局より

(佐々木生涯学習部長)

私事、本年10月12日付けで教育長に就任することとなり、委員の皆さんへご報告と感謝を申し上げます。これまでの当会議において、保護者や地域の方々がどれだけ新しい学校に期待されているのかを感じ、多くの勉強をさせていただいたと思っている。今後も引き続き、石狩八幡小の開校に向けて精進して参りたい。

※次回の開催日時について（松永総務企画課主幹より）

本年12月または来年1月に開催予定である旨を説明し、全体了承を得た。

閉 会

会議録署名

上記会議の経過を記録し、その相違ないことを証するため、ここに署名します。

令和2年 1月22日

石狩八幡小学校開校準備委員会

委員長 戎 屋 健 一